



憲法9条の会つくば ゆい結い

コミュニティーニュース

2008.5.18 No.21

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005 つくば市天久保 1-10-12 1-401

電話 090-3811-3753 Fax 029-856-2286

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

世界の空に9条の風を吹かせましょう！

風薫る、緑もえる5月です。連休の空模様は今一步ははっきりしませんでした、憲法9条の未来には明るい日差しが輝き出しています。

去る5月2日、「イラクへの自衛隊派遣は憲法9条1項に違反する」との名古屋高裁判決が確定しました。61回目の憲法記念日への素晴らしいパースディ・プレゼントです。同時にこの判決は、再び戦争の被害者にも加害者にもならないという、日本国民の平和のうちに生きる権利を具体的な人権として認めた画期的なものでもありました。一方ドイツでは5月7日、「連邦憲法裁判所が『NATO軍のイラク戦偵察活動にドイツ軍が参加したのは、交戦の可能性が具体的であったのに連邦議会(下院)の承認を受けておらず違憲である』と判決を下した」と報道されています。

5月4日～6日に幕張メッセで開かれた「9条世界会議」には1万人を超える参加者が集い、憲法9条の精神を世界にアピールしました。基調講演でノーベル平和賞受賞者のマイレッド・マグワイアさんは、「紛争は暴力ではなく対話によって解決すべきである。日本の9条はそのような世界のモデルです」と述べました。また、コーラ・ワイズさんから、民主化がすすむ中南米の国々で、9条と同じような内容をもつ憲法が作られつつあると報告されました。

憲法記念日前後に発表された各新聞社のアンケート調査の結果を見ても、憲法全体、特に9条を「変えない」の意見が6割を超えています。全国的な「九条の会」の広がりや運動の結果ではないでしょうか。

一方、つくばでも「梅園・東・稲荷前地域9条の会」では、憲法記念日にむけて念願であった地域全戸にチラシを配布しました。地域の20人程の賛同人で、3日間で1700枚のチラシを撒ききりました。このような取り組みは、今後、小中学校区単位での9条の会の活動へとつながっていくでしょう。そして、それぞれの地域の特性を生かした多様な活動が展開され、交流されるようになると楽しいですね。



賛同人 632名 (市内484名)

5月8日現在

9条署名 5月1日までの累計：
5367筆

(4月6日 定例行動：64筆
メーデー行動：304筆)

行動予定

6月1日(日)・7月6日(日) 定例街頭署名行動
11時半～ 中央公園アルス図書館前集合

6月1日(日) 「3周年記念のつどい」実行委員会
14時～16時 並木公民館 実行委員募集中！

7月20日(隔月第3日曜日) 定例会
10時～12時半 並木公民館

会の活動から



つくばは全国区の拠点だったんだ 4月6日 定例街頭署名行動から

満開の桜がはらはらと散り始めていました。つくばセンター近くの一カ所で、9名で行動しました。署名総数は64筆で、居住地をみると、ほぼ半数がつくば市(33)、土浦(7)、常総(5)、牛久(2)、その他県内(6)、東京(3)、山口(2)、千葉、山形、福岡、福井、新潟、大阪でした。私たちは、つくばを拠点にしつつ全国を股に掛けて活動していることになるのですね。ギター演奏と日本の叙情歌で応援していただいた荒牧さん、ありがとうございました。ギターで初めて聞いた“千の風になって”、署名後にみんなで歌った“ふるさと”、きつといい思い出になるでしょう。(署名担当 片岡)

打った！ 延ばした！ たいらげた！

「筑波地域憲法9条の会」そば打ちの集いに参加して



この春から9条の会に参加させて頂き、早々に美味しいイベントのお誘いを受けました。4月12日(土)、「お昼はおそば？」とはしゃぐ2人の娘と筑波公民館へ。調理室へ集った19名の皆さんは、大里さん、五十嵐さん、菊池さんを中心に3つのグループに分かれ、そば打ちを開始。水加減、力加減の繊細さは予想以上で、子ども達も、大きな木鉢にぶら下がるようにして、生地を捏ねていました。

額に汗をにじませながら格闘し、打ち立てのそばが完成。繋ぎに卵を使ったもの、水だけで打ったものなど食べ比べました。太さのばらつきはご愛敬、コシと香りは格別で、3kg近い麺を茹でた濃厚なそば湯と、ヤーコンのきんぴらも堪能しました。

楽しくそばを食べた後に、「憲法9条」全文を読み、憲法9条をめぐる動きを伺って、和やかに集えるのも平和だからこそ、と思いました。次回企画が楽しみです。(北条 岡田)

“小さな人々”の力が結集

5月1日 第79回つくば中央メーデー

今年のメーデーは、つくば市中央公園に労組や、市民・平和・婦人などの50余の団体から1200名が参加して行われた。団体数、参加者とも県最大の規模。メインスローガンは、「ワーキングプア・格差社会をなくせ!」「ストップ軍拡、平和で豊かな日本をつくろう」など。サブスローガンは「アメリカはイラクから撤退せよ!」「憲法9条を守ろう!」「賃下げをなくせ!」など多数。集会後は市中心部をデモ行進。

「憲法9条の会つくば」からは12名参加、300枚のチラシを配布し、一日の行動では過去最高の300筆以上の「9条変えるな」署名を集めた。「“9条変えるな!”の世論が6割を超え、自衛隊イラク派兵は憲法9条違反の判決が出た今こそ私たちの攻め時、果敢に活動する」との決意表明を行った。若葉に爽やかな風、はためく幟旗、「小さな人々」の団結の力で「世直し」はできる、と思わせてくれたメーデーであった。

(樋田



5月3日の憲法記念日を中心に、今年も全国で「憲法守れ！9条を変えるな！」の集会が開催されました。

つくばの高校生が報告 5.3 憲法フェスティバル in 水戸

憲法フェスティバルでの「青年トーク 憲法へのメッセージ」で、つくば市の茗溪学園高校2年生3人が発表しました。学校の個人研究で憲法と関わる課題に取り組んでいる人達です。岸本さんは働く場での女性差別の問題、金子さんは労働の実態、坂本君は生活保護の現状といった自分のテーマに基づいて、憲法の意義と現状について考えていることをしっかり報告しました。彼らの感想です。

坂本君：大人の人達の前で意見を言うことがなかったので緊張したけれど、途中熱が入って自分が言いたいことが言えたので良かった。

岸本さん：始まる前はなごやかな雰囲気だったけれど、ステージの発表が始まるとみんな憲法を真剣に考えているんだと思った。私達高校生の話も良く聞いてくれて嬉しかった。大人の話は聞いている人たちの心をつかんでいるなあと思った。

金子さん：大人の前で話すのが初めてだったのでどういう反応してくれるか不安だったけど、学生としての私達、未来に繋がる私達の意見をしっかり聞いてくれてうれしかった。憲法を守っていこうという人がたくさんいると知ってよかったなあ。(レポート：阿部)



9条への思い、新たに 5.3 憲法集会 in 東京

東京集会には、日比谷公会堂あふれる 4300 人が参加しました。集会で湯川れい子さん（私は中学生ぐらいの時からラジオDの湯川さんの番組を聞いていたので、変わらぬ懐かしい声であった）は、子どもの時にお父さんやお兄さんを戦争でなくし、苦労されたお母さんの事などの実体験から憲法の大切さと、今日日本が世界に誇れる9条を大事にしていく事などを話されました。他に、「9条世界会議」へ参加するために来日した元米陸軍大佐・元外交官で、ブッシュ政権のイラク攻撃に抗議して辞職したアン・ライトさんなどのスピーチがありました。また、子どもパレードのメンバーが舞台上に登場して「憲法守りたい！」と発言し、会場の参加者と一緒に歌ったりして楽しみました。

集会後、銀座をパレード。パレードは様々な工夫がありましたが、右翼の皆さんが多数集結し大音響で、私には見当違いと思える事を叫んでいました。しかし、このような集会などに出ると元気が出ますね。(児玉正文)

「9条世界会議」守りたい心は一つ 5.4～6 in 幕張メッセ

「人、多すぎじゃねえ～」。幕張に向かう電車の中。途中、某テーマパークのある舞浜を過ぎても、状況は変わらず。駅に着いてからも、幕張メッセに向かう人、人、人。すでに長蛇の列ができていた。

「入場制限があるかもしれないから早めに行こう」と冗談半分話していた。運よく、私達は会場に入ることができたが、約3000人が入場制限にあった。

開演後は約6時間の長丁場。講演中、睡魔に襲われつつ、合間に入るパフォーマンスで目が覚める。会議の中身は、名前通り、「世界中で9条が注目されていますよ」というもの。各国代表からの発言は、同時通訳による微妙な時間差で、会場に驚きと共感と呼んでいた。

今回の会議、人の多さに、素直に驚いた。9条に注目している人って沢山いるんですね。みんなで励ましあいながら、行動をしていきたい、と思える企画でした。(大学生 H.I.)

<松本侑子さん プロフィール>

(まつもとゆうこ) 作家、翻訳家 / 日本ペンクラブ常務理事。筑波大学社会学類卒業、政治学専攻。テレビ朝日「ニュースステーション」出演をへて、1987年「巨食症の明けない夜明け」ですばる文学賞受賞。訳注つき全文訳『赤毛のアン』(集英社文庫)、『赤毛のアンへの旅～秘められた愛と謎』(NHK出版) 共著『みんなの9条』(集英社新書)、『憲法を変えて戦争へ行こうという世の中にしないための18人の発言』(岩波ブックレット)など多数。今年4月～6月、NHK教育テレビ「3か月トピック英会話～『赤毛のアン』への旅・原書で親しむ Anne の世界」講師。

松本侑子さん、つくばに！

日時：2008年10月4日(土) 午後1時30分 (開演予定)
会場：つくば国際会議場
記念講演：松本侑子さん
文化行事他：只今、交渉中

「愛国心」と「非国民」

私の戦中の体験と憲法9条

福島敬三(かすみがうら市)

戦争を
想う
平和を
想う

「愛国」が「政府の言ふがままに」
とすり替わり 国亡ぼししを忘るる勿れ

私は、この十年近く読みつづけ入選した短歌より、憲法第九条をめぐる問題を題材とした三十首を選び、「神の贈り物の憲法第九条」をまとめ、いくつかの集會に持参し、報告した。その中で、この一首は私の戦中の体験に過ぎない一作である。

米英開戦の昭和一六年、私は国民学校初等科四年、昭和二〇年の「終戦」は、同じく高等科二年だった。

「愛国」とは、この緑と水の美しい国土と、そこに住み暮らす人々を愛し、大事にしていく事だ。その為には、おさめる税金をきちんとなし、いい加減に無駄遣いされたなら烈しく抗議する、そういう具体的な心の動きなのだという事が、戦後の何年かの中で、私には理解されてきた。その時、戦中の愛国心の欺瞞がはつきり見えてきた。それは何の事はない、政府の言いつ事を、只、ハイ！ハイ！と言つて聞くことであつた。それに反対したり、批判がましい言葉をほめかしたら、即座に「非国民」と決めつけられてしまふ。それも政府の役人や政治家(多く軍人)からばかりで無く、周囲の一般人からも罵られたのである。そういう雰囲気社会全体が操作されてしまつたのである。言論の自由が、完全に絞め殺されてしまつていた(治安維持法等の悪法によって)結果である。

今、その言葉に代わつて、「反日分子」というおぞましい言葉が横行し始めている。例えば「WILLER」(ワック出版)という月刊誌。八、九割はひどい太記事で、その中に頻りに、この「反日分子」というレッテル貼りが行われているのを見てとる事ができる。私達は、めんどろでも一つひとつ具体的に事実を取り上げ検討し、真実を極めていく必要がある。それが憲法第九条の思想なのである。

戦争を強ふるに思い至らぬかこの子らに

第九条を変へむ企みは

世に輝ける第九条は

平和ねがう世界の民の絆なる
人類に贈りくれし神の宝物

日本国憲法第九条を

(筆名・大塚)

<インフォメーション>

筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会：「講演と対話のつどい」

5月25日(日) 13:00～17:00 / 大穂公民館視聴覚室 (入場無料) / 基調講演：「地球温暖化防止と再生可能エネルギーの普及 戦争のない平和な持続可能社会の構築を目指して」和田 武(元・立命館大学教授)他 / 連絡先：Tel&Fax 029-857-6593 (茅野)

茨城県母親大会

7月6日(日) / 茨城県立総和高校 / 10:00～12:30 分科会 / 13:30～16:00 全体会：記念講演「ストレス社会で自分らしく生きる 『いい人』で生きることへ疲れたいあなたへ」香山リカさん(精神科医) / 参加協力券 1000円(高校生以下無料) / 主催：茨城県母親大会実行委員会 (Tel029-824-8949 Fax029-824-8947)